

目 次

**「Ctrl」キーを押しながら目次欄（下線部分）をクリックすると、
該当ページまで移動します。**

<u>出席委員</u>	2
<u>討論及び採決</u>	4
<u>特別委員会報告書の作成について</u>	12

※本会議録で使用している漢字は、汎用性等を考慮し、「JIS第1水準漢字」を使用しています。
このため、人名や地名などの固有名詞等において、実際の漢字とは異なる標記となっている場
合があります。

平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月13日水曜日分）

平成31年 利府町議会予算審査特別委員会会議録（第5号）

平成31年3月13日（水曜日）

出席委員（17名）

委員長	鈴木忠美君	
副委員長	木村範雄君	
委員	伊藤司君	鈴木晴子君
	西澤文久君	後藤哲君
	小淵洋一郎君	安田知己君
	土村秀俊君	吉岡伸二郎君
	高久時男君	伊勢英昭君
	永野涉君	遠藤紀子君
	渡辺幹雄君	郷右近隆夫君
	及川智善君	

欠席委員（なし）

説明のため出席した者

町	長	熊谷大君
副町	長	伊藤三男君
総務課	長	折笠浩幸君
政策課	長	櫻井昭彦君
財務課	長	高橋三喜夫君
税務課	長	阿部智子君
町民課	長	伊藤智君
生活安全課	長	櫻井浩明君
保健福祉課	長	伊藤文子君
子ども支援課	長	菅井百合子君

平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月13日水曜日分）

都市整備課長	菅野 勇 君
産業振興課長 兼農業委員会事務局長 兼農林水産班長	阿部 義弘 君
上下水道課長	鈴木 啓義 君
収納対策室長	鈴木 真由美 君
文化複合施設推進室長	庄子 敦 君
会計管理者 兼会計室長	小幡 純一 君
教 育 長	本 明 陽 一 君
教 育 次 長	佐 藤 博 昭 君
教育総務課長	庄 司 幾 子 君
生涯学習課長	高 橋 徳 光 君
代表監査委員	宮 城 正 義 君
監査委員事務局長 兼選挙管理委員会事務局長	庄 司 英 夫 君

事務局職員出席者

事 務 局 長	鈴 木 則 昭 君
主 幹	土 屋 俊 介 君
主 任 主 査	利 玲 子 君
主 事	千 葉 あさ子 君

平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月13日水曜日分）

午前9時30分 開 議

○委員長（鈴木忠美君） おはようございます。

これより予算審査特別委員会を再開します。

ただいまの出席委員は17名です。

これより議事に入ります。

本特別委員会に付託された平成31年度利府町各種会計予算について、3月6日から4日間にわたり、各課長などから所管事項の説明を受けて慎重に審議してまいりました。

これから案件ごとに**討論及び採決**を行います。

初めに、議案第14号平成31年度利府町一般会計予算について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。6番 安田委員。

○安田知己委員 議案第14号平成31年度利府町一般会計予算に対し、日本共産党議員団として反対の討論を行います。

この予算の中には、町民の暮らしを支える事業や町民の要望に応じて進めている事業など数多く計上されています。例えば、昨年の危機的な猛暑を踏まえ、児童生徒の健康を守り、安心して学校生活を送れる事業として小中学校のエアコン設置に7億2,300万円、そして、多くの町民の長年の要望である新図書館の開館に向け、文化複合施設整備に12億7,200万円、また、子育て世帯の大きな経済的支援になる子ども医療費助成に1億7,300万円を初め、町民生活とかかわる数多くの事業が実施されていることは認めるものであります。

しかし、今回の予算案では、住民の暮らしや願いに十分に答え切れていない課題や消費税増税を前提とした事業実施など賛成できない部分があります。それらについて指摘をして反対いたします。

1、学校給食費の助成実施についてです。

この事業は、町長の最重点公約ということで、施政方針にも早期実現に向けて取り組むとありました。しかし、今回の予算案には、その強い意気込みが反映されていないと思います。前町長は、財源が厳しい中でも子供医療費無料では県内でも先進的な取り組みを行いました。この給食費助成については多くの子育て世帯から強い期待が寄せられています。熊谷町長は保護者の皆様の切実な要望に応え、31年度のおそくない時期に何かしらの具体策を示すべきであることを指摘しておきます。

2、高校、大学などに通う学生の保護者からの要望が強い奨学金制度創設の取り組みが不十

分な点についてです。

県内の全ての町村で実施している自治体独自の奨学金制度創設に向けての取り組みが今年度も予算案にはありませんでした。子育ての経済支援として、この課題についても早期実現に向けての検討が必要であることを指摘します。

3、学童保育の実施については、全ての小学校で実施されていることや小学校6年生まで入所対象児童を拡大したことは評価します。しかし、毎週土曜日の学童保育が実施されていないことは、保育所が土曜日にも実施していることを考えれば学童保育も実施が必要です。特に、小学校1年生、2年生の低学年児童の安全のためには第3土曜日の実施だけではなく、毎週土曜日に実施することが必要であり、保護者の皆様が安心して仕事ができる上でも大事な取り組みであることを指摘しておきます。

4、本年度の予算案の中に、国が進める10月からの消費税10%増税に向けての対策として2割5分増し商品券事業が含まれています。消費税増税について共産党議員団は、今の景気悪化の中での増税は住民の暮らしにも、文化複合施設を始める町の事業にも深刻な影響を及ぼすものであり、10%増税には反対の立場です。

政府も、先週景気動向を下方への局面変化と景気が後退していることを公表しました。菅官房長官は経済状況を見て、消費税率10%の引き上げを最終的に判断するタイミングは予算成立後だと発言しています。官房長官の判断では増税はまだ決まっていないことになるわけで、経済状況を見て3月末か4月に増税を決めると言っているわけです。つまり、消費税増税が景気悪化と国民の暮らしに深刻な影響があることは政府みずから認めているわけで、そのための割り増し商品券やポイント特化などの応急対策を実施するわけであり、しかし、どれも半年程度実施する事業であり、一方消費税増税はずっと続くわけですから、これらの対策が根本的な解決策にならないことははっきりしております。

今回の商品券事業は、政府の号令により町が実施せざるを得ないことは理解しますが、国民の暮らしや町の予算にも深刻な影響を与えることになる消費税増税推進の対策としての今回の商品券事業を認めるわけにはいかないことを指摘しておきます。

以上の点を踏まえて、平成31年度一般会計予算案に反対いたします。

○委員長（鈴木忠美君） ただいま安田知己委員より反対討論がありました。次に、賛成討論。

鈴木晴子君。

○鈴木晴子委員 議案第14号平成31年度利府町一般会計予算に対し、賛成の立場で討論いたしま

す。

初めに、東日本大震災の発生から8年が経過し、犠牲となられた皆様方に謹んで哀悼の誠をささげますとともに、被災された多くの方々に対し心よりお見舞いを申し上げます。また、被災地の復旧・復興事業が進みゆくこと、これからますます重要となる心の復興がさらに充実した施策として図られるよう強く願うものであります。

さて、現在の国の状況につきましては、少子超高齢化に伴う人口減少社会への対応、持続可能な社会保障制度の確立など、依然として厳しい状況にあると考えております。そのような状況下でも、町、当局においては、予算総額128億4,000万円と利府町総合計画の実現のために、今後の町の将来を見据えた諸施策の展開に重点的に予算が配分されており、事業の実現に向け、着実に推進することを期待するものであります。具体的な内容につきましては、施政方針からその内容を検証したいと思います。

まず、震災復興事業についてでございますが、利府町震災復興計画に基づき進められてきた復興事業であります。浜田、須賀地区の各種復興事業は、避難路、避難施設や避難場所も完成し供用を開始しており、平成30年度には津波対策として進めてきた浜田地区防潮堤も完成いたしました。平成31年度においては、移動系防災行政無線の整備や須賀地区の水門工事が完成する予定であり、本町の復興事業も着実に完遂に向け歩みを進めていることを実感しているところであります。町、当局としましては、今後も復興計画の推進に柔軟に対応しつつ、各種工事の施工監理を適切に施行するとともに、復興事業が完成するまでの十分な財源の確保に努め、一日も早い復興がなし遂げられることを強く要望するものであります。

次に、地方創生でございますが、利府町まち・ひと・しごと創生総合戦略の核（コア）プロジェクト『TSUNAGARI－fu』～つながり創出プロジェクト～の1つであるまちづくり大学がスタートして2年が経過し、本プロジェクトの狙いでもある産学官連携や町民との協働など、つながりが創出されている様子がうかがえます。地方創生推進交付金事業の最終年度となる平成31年度は、地域課題の解決に向け、ともに行動できる人材の発掘や育成をさらに力強く推進するとともに、公益的な活動に取り組むボランティア組織やNPO団体の立ち上げ、支援等を図ることとしており、協働のまちづくりがさらに進み、今までにない活気あふれる町になることを大いに期待するものであります。

次に、政策実現のための財政運営であります。ふるさと応援寄附金の増額や国、県支出金の増額があるものの、平成31年度は財政調整基金の取り崩しや町債の発行に頼らざるを得ない

状況となっております。今後もさらなる厳しい財政運営が予測される中、プライマリーバランスの黒字化や財源確保に向け、税の収納率向上と徴収対策の強化に努め、国や県に対して補助金の確保を要望するとともに、自主財源確保のためのさまざまな施策の展開を図るよう求めます。

次に、教育、福祉についてであります。教育環境については、平成30年度からの繰越事業である小中学校のエアコン設置の早期完成を目指しての空調設置事業の推進、情報教育の充実として教育用タブレット等のICT機器の整備など、児童生徒の学習環境への対応が図られています。保育環境については、3歳未満の待機児童解消に向け、小規模保育施設A型の整備や保育施設の空き状況等をホームページに随時掲載することなど、保護者へ寄り添った多様な保育ニーズへの対応が図られており、県内トップクラスの子育てしやすい町としてさらなる推進が期待されます。

スポーツの振興としましては、東京2020オリンピック競技大会サッカー競技会場開催自治体として、スポーツを通し、町民の健康増進と町民相互のコミュニケーションを図るなど、さらなるスポーツの活性化に取り組むことを望みます。また、オリンピック開催自治体として、関係機関との連携や町民との協働によるおもてなしを考えるなど、オリンピックのさらなる機運醸成を図ることを望みます。

文化複合施設の整備については、平成30年度に造成工事がほぼ完了し、平成31年度は第1期工事に着工することとしています。平成32年度末の完成に向け、町民が主体的に活動できる場として着実な整備を期待するところであります。

障害者福祉については、障害のある方々が地域の中で自分らしく生活を送れるよう、障害者への理解促進や相談支援の充実を図ること、また、児童発達支援センターの設置を検討することとしており、さらなる共生社会の実現に向け取り組むことを期待いたします。

また、全国的な問題となっている児童虐待については、国も対策を強化いたしました。町としても関係機関との連携強化を図るとともに、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応に一人も悲しい思いをさせることがないように、全力で取り組むことを望むものであります。

次に、総合対策についてでございます。平成30年3月に策定いたしました利府町地域公共交通網形成計画に基づき、住民と意見交換会を開催し、町民の声を反映したバス路線の再編、見直しを図っております。今後も意見交換会の継続的实施など、町民、利用者ニーズに沿った交通対策が推進されることを望みます。

次に、快適で利便性の高い住環境の整備であります。均衡ある地域発展のため、将来市街地として整備開発及び保全を進める地区として位置づけられた新太子堂南地区、葉山地区、新太子堂北地区、金沢地区において新たな市街地の形成に向けた手続が進められることや、高嶋交差点、利府駅前広場の整備など、町民生活に密着した道路等の整備や維持補修工事等の実施により、町民の利便性の向上や児童生徒の通学路の安全確保など、町民に寄り添った住環境の整備がさらに進み、人口減少対策、少子高齢化社会に対応した持続可能なまちづくりへの推進が図られております。

次に、農業振興についてですが、町の特産品である利府梨の振興についてさまざまな事業が図られおり、中でも平成31年度においては梨栽培の充実、地域活性化等へ大いに貢献が期待される地域おこし協力隊の採用も予定されているところであり、さらなる利府梨の振興が図られることを期待いたします。

最後に、10月には日本にとって最大の課題である少子化対策、超高齢化対策、持続可能な社会保障制度を確立するための財源として、消費税の引き上げが予定されております。国は増税対策として、低所得者ほど負担が重くなる逆進性を緩和するため、軽減税率の導入やプレミアム商品券の発行を予定しており、町も低所得者、子育て世代向けプレミアム商品券にかかわる予算を計上し、国とともに対策を推進しております。持続可能な社会保障制度実現に向け、さらなる体制整備を期待するものであります。

以上、平成31年度予算の強化すべき施策の代表的なものを申し上げましたが、町長施政方針の「暮らしも心もゆたかになる町、利府町」の実現に向け、町民の皆様が主役となって生きがいと喜び、心の豊かさと幸せを実感できるよう、活力あるまちづくりに取り組むための積極的かつ柔軟な予算となっていることを評価するものであり、さらなる政策実現を推進することを期待し、賛成といたします。

以上でございます。

○委員長（鈴木忠美君） ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより議案第14号平成31年度利府町一般会計予算を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（鈴木忠美君） 起立多数です。したがって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に、議案第15号平成31年度利府町国民健康保険特別会計予算について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。最初に反対討論。6番 安田知己君。

○安田知己委員 では、議案第15号平成31年度利府町国民健康保険特別会計予算に討論を行います。

今回の国保会計の予算総額は、歳入歳出それぞれ30億7,575万1,000円です。医療費の伸びなどで前年度比4.1%増の予算となっております。

予算や決算の討論では毎回言っておりますが、この国保会計が行っている医療保険事業は、国民皆保険制度を大もとで支える保険制度として、町民の健康の保持と福祉の増進に大きく寄与している重大な事業であることは認めるものであります。

31年度から国保税は資産割を廃止し、所得割、均等割、平等割の3方式で計算することになりました。しかし、問題は資産割の廃止で減った分を均等割などの引き上げで穴埋めすることであり、資産を持たない世帯の負担が増加するという問題を抱えております。仙台市では子供に対する均等割の軽減対策を行うことを決めております。子育て世帯を応援する利府町としても、財源の確保と子育て世帯への軽減対策を求めます。

また、31年度の予算では、加入者が無理なく納められる保険税になっていないという問題もあります。国保加入者は所得の低い人や年金生活者、無職の人など、社会的に弱者といわれている人が多くを占めています。ですので、医療を必要とする人が多く、かかる医療費は自然と膨らみ、その大きな医療費の半分を国保加入者に国保税として課しているのですから、払いたくても払えない国保税額になって当然であります。加入者が無理なく納めることができる税体系の検討が必要だと思います。あわせて、平成29年の決算書では短期保険証が152世帯、資格証明書が13世帯に発行されています。短期保険証、資格証明書の発行は医療を受ける権利を妨げることから、これらの発行は取りやめるべきです。

国民皆保険制度の最後のとりでである国保に対し、国が責任を持つべきです。町も、全ての町民が健康で文化的な生活が営めるよう国保への財政支援拡充を国に求める必要があります。国保税の所得割、均等割の引き上げと、短期保険証と資格証明書の発行を指摘し、無理なく納

められる国保税、国庫支出金の増額を求めまして、国保会計予算に対する反対討論といたします。

○委員長（鈴木忠美君） 次に、賛成討論。10番 高久時男君。

○高久時男委員 それでは、議案第15号平成31年度利府町国民健康保険特別会計予算に賛成の立場で討論いたします。

平成31年度の予算は30億7,575万1,000円で、昨年より1億2,100万円の増額となっております。加入者が直接負担する国民健康保険税の収入見込みは、昨年より4,000万円減の5億4,500万円で、構成比は17.7%です。

国民健康保険税は、今回、県の方針により課税方式を今までの4方式から資産割を廃止した3方式に改正いたしました。改正に伴い不足する税収を確保する必要があり、3方式の税率を相当数上げなければなりません。今回の税率改正は加入者の負担を最小限に抑えた料率となっており、評価できるものです。反面、税収不足が心配されますが、国民健康保険は、主に現役を引退した75歳までの人が加入するため、今後も税収増は見込めません。国民健康保険制度の維持を長期的に考えれば、いつかの時点で均等割、平等割の税率改正が必要になると思われませんが、31年度の予算は、税収が厳しい環境の中でも必要な財源を確保できると考え、賛成いたします。

以上です。

○委員長（鈴木忠美君） ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより議案第15号平成31年度利府町国民健康保険特別会計予算を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（鈴木忠美君） 起立多数です。したがって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に、議案第16号平成31年度利府町介護保険特別会計予算について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより議案第16号平成31年度利府町介護保険特別会計予算を採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に、議案第17号平成31年度利府町後期高齢者医療特別会計予算について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより議案第17号平成31年度利府町後期高齢者医療特別会計予算を採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に、議案第18号平成31年度利府町下水道特別会計予算について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより議案第18号平成31年度利府町下水道特別会計予算を採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に、議案第19号平成31年度利府町町営墓地特別会計予算について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

平成31年3月予算審査特別委員会会議録（3月13日水曜日分）

これより議案第19号平成31年度利府町町営墓地特別会計予算を採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に、議案第20号平成31年度利府町水道事業会計予算について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより議案第20号平成31年度利府町水道事業会計予算を採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上で、本委員会に付託された平成31年度利府町各種会計予算の審査は全部終了いたしました。

なお、**委員会報告書の作成**については、私に一任願います。

これで予算審査特別委員会を閉会します。

御苦労さまでした。

午前9時57分 閉 会

上記会議の経過は、事務局長鈴木則昭が記載したものであるが、その内容に相違がないことを証するため署名する。

平成31年3月13日

委員長